

# ほほえみ

第 265 号  
令和 2 年  
11.1 発行



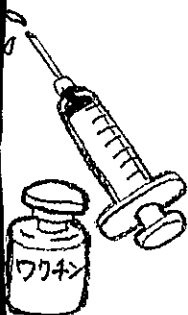
今回のテーマは

「肺炎と肺炎球菌ワクチンについて」です。



肺炎とは……

細菌やウイルスなどの病原体が肺に入って感染し、肺に炎症が起こる病気。肺炎の主な症状は、発熱、咳、痰などで、風邪とよく似ており、症状から見分けるのは難しいのですが、両者はまったく異なる病気です。大きな違いは感染が起こる部位です。風邪は主に鼻や喉といった上気道に病原体が感染して炎症を起こすのに対して、肺炎は主に肺の中で炎症が起きる病気です。病気にかかっていて体力が落ちている時や、高齢のため体力や免疫力が弱っている時などに肺炎を起こしやすくなります。肺炎は高齢者における死因の上位に挙がるため、高齢になればなるほど注意が必要であり、しっかりと予防していくことが大切です。



肺炎の予防方法

- ① マスク、手洗い、うがいをしっかりと行い、肺炎の原因に感染しない。
- ② 禁煙する。
- ③ 十分な食事と休養、運動で基礎体力をつける。
- ④ 予防接種を受けておく。



予防接種（肺炎球菌ワクチン）について



肺炎球菌は主に気道の分泌物に含まれる細菌で、唾液などを通じて飛沫感染します。日常的に生じる成人の肺炎のうち、 $\frac{1}{4} \sim \frac{1}{3}$ は肺炎球菌が原因と考えられています。高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンの定期接種を実施しており、2020年4月1日～2021年3月31日までは、対象者①もしくは②の方が対象となります。対象者は国からの公費を受け予防接種を受けることができます。

対象者①

2020年度(令和2年)に

生年月日

65歳となる方	昭和30年4月2日～昭和31年4月1日生まれ
70歳となる方	昭和25年4月2日～昭和26年4月1日生まれ
75歳となる方	昭和20年4月2日～昭和21年4月1日生まれ
80歳となる方	昭和15年4月2日～昭和16年4月1日生まれ
85歳となる方	昭和10年4月2日～昭和11年4月1日生まれ
90歳となる方	昭和5年4月2日～昭和6年4月1日生まれ
95歳となる方	大正14年4月2日～大正15年4月1日生まれ
100歳となる方	大正9年4月2日～大正10年4月1日生まれ

対象者②

60歳から65歳未満の方が、心臓・腎臓・呼吸器の機能に、自己の身の日常生活活動が軽度制限される程度の障害や、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に、日常生活がほとんど不可能な程度の障害のある方

※すでに肺炎球菌ワクチン(ニューモバックスNP)を接種したことのある方は定期接種の対象とはなりません。

詳細は受付にてご案内しますのでお声掛けください。

定期接種の対象となる方は毎年度異なるため、この機会を逃がさないようご注意ください。